

Q：寒冷地仕様の装備を教えてください。

寒冷地仕様は、全車標準装備でございます。（除くフロントヒーター）
主な装備は、下表のとおりです。

<○：あり -：なし>

装 備	設 定	説 明	2.8L ディーゼル車			2.7L ガソリン車
			ZX	VX	GX	VX
冷却水（LLC）	LLC 50%	寒冷地では、エンジン内を循環している冷却水の濃度が低いと凍ってしまうことが考えられるので、冷却水が凍らないように濃度を上げております。 通常の濃度である、30%だと-15度ぐらいで凍結しますが、濃度を50%にすると凍結温度が下がり、約-35度ぐらいにならないと凍結しなくなります。	○	○	○	○
ウインドシールドデアイサー	あり (タイマー付)	雪だまりや凍結によりワイパーが動かなくなることを防止を目的にフロントガラスに熱線を配したものです。 (下図1参照)	○	○	○	○
ウインドシールドワイパー	あり	ワイパーモーターが強力になります。	○	○	○	○
ウォッシャー液レベルウォーニング	あり	液が残りわずかになった時、マルチインフォメーションディスプレイに「ウォッシャー液不足」と、警告メッセージが表示されます。	○	○	○	○
フロントワイパークラック	あり	雪などによりワイパーに無理な負荷がかかった際、部品が変形や破損をしないようにクラック（スプリング）で吸収しワイパーを保護します。	○	○	○	○
フロントヒーター	補助ヒーターあり + ビスカスヒーターあり	エンジン始動直後からエンジンが暖まるまでの間、通常のヒーターに加え、暖房を補う電気式補助ヒーターです。エンジンの冷却水温が低いときの室内暖房に貢献します。即熱性があるため、短時間で暖房がききます。それらのヒーターに加え、さらに室内の暖房性能を向上させるビスカスヒーターが設定されます。（ビスカスヒーターは、エンジン上部に位置します。ドライブベルトによって駆動され、ビスカスユニット内のシリコンオイルをかくはんします。その時に発生する熱によって冷却水を温め、暖房性能を向上させます。）	○	○	○	×
リヤヒータータクト	あり	後席の暖房効果に貢献するため、リヤシート足下に温風を送るためのタクトが設定されます。（下図2参照）	○	○	○	○
バッテリー	LN3	バッテリーの容量は、冬場のエンジンの始動性と電装品に対応しています。	-	-	-	○
	LN4		○	○	○	-
オルタネーター	130A	発生電流量の高いオルタネーターを採用し、冬場の電装品の使用頻度増加に対応しています。	-	-	-	○
	180A		○	○	○	-
スターター	2.0kW	容量の高いスターターを採用し、冬場のエンジンの始動性に対応しています。	-	-	-	○
	2.7kW		○	○	○	-
ドアミラー	ヒーター付	ドアミラーを暖めて霜・霧・雨滴を取り除くものです。	○	○	○	○
ミリ波ヒーター	あり	ミリ波レーダー専用カバーへ付着した雪等を取り除くものです。	○	○	○	○
リヤフォグランプ	あり	霧・雪・雨などにより視界が悪い時にクルマの存在を後続車に知らせるための赤色灯です。 (下図3参照)	○	○	○	○

<上記標準装備以外でおすすめの装備>

装 備	説 明
ウィンターブレード *	降雪時、通常のワイパーブレードではフレームに雪が付着し、凍りついてワイパーとしての機能が低下します。そこで、ブレード本体を特殊合成ゴムラバーで覆い、寒さによる固着を防ぎ、雪や雨を拭き取り、視界を保つようにします。

*ウィンターブレードは全車販売店装着オプションです。

